

# 目次

序章	歴史と文化交流から考える北米先住民族の宗教と神話……………	1
	初めに／北米先住民族研究における宗教と神話／神話——聖なる物語／グローバルな	
	文脈と先住民性／「先住民性」概念の問題点／先住民性の異種混濁性と液状化／文化	
	接触から文化交流へ／終わりに	
第一部	文化交流における他宗教の誤解……………	45
第一章	一八世紀のイエズス会宣教師とアルゴンキアン族との間の文化交流……………	47
	初めに／イエズス会士の書簡／「ビーバーの骨」と「笑い」に見る非対称的な差異の	
	状況／夢見の誤解／終わりに	
第二章	ホデノシヨニ（イロクオイ）神話における「母なる大地」を巡る宗教史的考察……………	67
	初めに／『母なる大地』と宗教史学における歴史学的側面／テクストとしての神話の歴	
	史的成立過程／「我らの母、大地」の大地性と神話的存在者の系譜学的考察／終わりに	

第二部 多様な文化交渉と先住民族の宗教的・神話的世界……………	93
第三章 ホピの神マーサウを巡る歴史と神話……………	95
初めに／グローバル時代の先住民族宗教の研究／民族学誌に見るマーサウ／「歴史」 におけるホピとマーサウ／終わりに	
第四章 盲目の語り手ガハンドルが語ったハイダ神話……………	123
初めに／神話語りの社会性とパフォーマンス性／ガハンドルの生涯と歴史／神話の時 間／ハイダの天候の変化についての神話／終わりに	
第五章 デイネ（ナヴァアホ）とホピにおける 「思う（創る）女性（蜘蛛女「蜘蛛婆」）」と織物の起源……………	145
初めに／蜘蛛女と織物の起源についての神話／世界創世神話における蜘蛛女（蜘蛛 婆）／岩絵と蜘蛛女／日常性と聖性——あやとりと地形に見る神話的出来事の痕跡／ 終わりに	
第六章 カンニバルの神話的怪物ウインディゴを巡る歴史と人格変容……………	171
初めに／ウインディゴ研究概説と本章の視点／ウインディゴ表象／道徳的教えとして のウインディゴ／ウインディゴ——神話と人格変容の間／終わりに	

第七章 ホビの昆虫神話にみるホビ的自然観と変化……………199

初めに／自然環境と神話／神話の一般性から神話の語り手の歴史的特殊性へ／ホビ世界における「昆虫」の位置づけ／昆虫に関する神話伝承／考察／終わりに

第二部 人物史から見る文化交渉と宗教的・神話的世界……………231

第八章 ジョン・A・ギブソン——カナダ、オンタリオ州、

シックス・ネーションズ・リザーブの伝統主義者セネカ世襲首長の伝記……………233

初めに／若きジョン・A・ギブソン——ラクローズ選手／ギブソン家の親族問題／イロクオイ連合の伝統的ロングハウス首長としてのジョン・A・ギブソン／SNRの内政におけるギブソンの役割／ギブソンの儀礼に関する知識／歴史の中におけるギブソンの神話語り／ギブソンの死／終わりに

第九章	カユガ世襲首長ハタハツ・イクレフタ(ジェイコブ・E・トーマス)	
——	シックス・ネーションズ・リザーブにおける伝統的言語の保存と継承の試み——	273
	初めに／ハタハツ・イクレフタ(ジェイコブ・E・トーマス)／トーマスの試みの歴	
	史的背景／ジェイク・トーマス・ラーニング・センター(JTLC)／トーマスの試	
	みへの反応／終わりに	
第一〇章	ハイダの芸術家ビル・リードの芸術作品に見られる二重の他者性と先住民性	301
	初めに／ビル・リードにおける先住民性とは／リードの生涯と先住民性／先住民性の	
	場所性とリードの芸術作品の他の場所性／二重の他者性の表象としての《ハイダ・グ	
	ワイの精神》／終わりに	
終章	各章を振り返って	325
注		339
索引		384
あとがき		385